

**J** **apanese text**

2016年 秋/冬号 日本語編

イベント  
ガイド

文＝鈴木糸子、大久保美智子

p.070

**地域と共鳴するアートを堪能**

日本国内でも年々人気が高まり、開催都市が増えつつある芸術祭。今年も各地でビエンナーレやトリエンナーレが開かれる中、第3回を迎えていっそうの盛り上がりを見せるのが「瀬戸内国際芸術祭」だ。現代アート発信地として知られる香川県・直島をはじめ、瀬戸内海に面する12の島や本州側と四国側の2つの港で開催される。ビーチに置かれた196体の子供の像に世界との関係性のメッセージを託したリン・シュンロン「国境を越えて・潮」(小豆島)や、針工場跡地に造船所の木型を置き地域に残された産業の記憶を伝える大竹伸朗「針工場」(豊島)などの2016年新作のほか、閉校になった小学校や近代化産業遺産である製錬所跡を利用した作品にも注目。また、色鮮やかな漁網が波打ち際に張られた五十嵐靖晃「そらあみ〈島巡り〉」(本島)などは、秋会期(10月8日～)のみ開催する西の島エリアで公開予定。男木島や女木島では、民家の間の小道を伝って作品にたどり着く面白さがあり、島民の生活に寄りそう体験ができるのも面白い。さらに各地では、国内外100組以上のアーティストが参加する「あいちトリエンナーレ」(8月11日～10月23日)、歴史的建造物と作品がコラボレートする「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」(9月3日～9月25日)、海と山に囲まれた自然の中に作品が展開される「茨城県北芸術祭」(9月17日～11月20日)、城下町など伝統建築保存地区の空き家を活用した「BIWAKO ビエンナーレ」(9月17日～11月6日)、イギリスの現代美術作家リアム・ギリックをアーティストック・ディレクターに迎えた「岡山芸術交流2016」(10月9日～11月27日)なども開催。日本の多

様性を感じられる地方を訪ねつつ、アートとも親しんでみたい。(鈴木糸子)

瀬戸内国際芸術祭2016

夏：～9月4日

秋：10月8日～11月6日

setouchi-artfest.jp

**版画初心者も楽しめる小品展**  
CWAJ特別版画展 Intimate Dimensions  
——小品の中の世界

一般社団法人 College Women's Association of Japan (CWAJ) は、1956年より毎年、現代版画展を開催している。2015年で第60回を迎え、第61回は2017年に開催予定。それに先駆け今年2016年の特別版画展では、35人の名だたる版画家の手による、珠玉の現代日本版画作品80点を展示・販売。「Intimate Dimensions—小品の中の世界」と銘打ち、小さな作品に焦点を絞り、さまざまなテーマ、作風、技法の版画を集めた。掌に載るほど小さく繊細な志村博のシルクスクリーン作品から、ダイナミックで色鮮やかな黒崎彰の木版画、小林敬生が手がける木口木版ならではの緻密な世界、美意識の粋を極めた篠田桃紅のリトグラフまで、いずれも芸術性が高い秀作ぞろい。サイズも価格も手頃なため、版画は初めてという方にもおすすめしたい。事前の予約があればガイドツアーにも参加可能。展示作品や作家にまつわる興味深いエピソードが聞ける。この版画展の純益は、例年同様CWAJ奨学金と教育プログラムの資金に充てられる。(大久保美智子)

9月27日～10月16日

フレデリック・ハリス・ギャラリー

東京都港区麻布台2-1-2 東京アメリカンクラブ B1F

www.cwaj.org

第60回CWAJ現代版画展は現在アメリカで開催中

第60回現代日本版画展 還暦—60年の軌跡

～9月14日

ハイフィールド・ホール・アンド・ガーデンズ

highfieldhall.org

## 多様な魅力の現代日本を表現 SAKURA -JAPAN IN THE BOX-

長き歴史や独特の伝統文化はもとより、発展する科学技術やサブカルチャーなど多様性に富んだ“日本”の魅力を凝縮した舞台がこの秋より始まる。「SAKURA -JAPAN IN THE BOX-」は、日本舞踊とダンス、和楽器とロック、現実の舞台とアニメーションをシンクロさせ、移ろいゆく四季の情景を幻想的に展開するミュージカル・ファンタジー。プロローグでは、主人公である女子高生サクラが白狐に誘われて異次元の世界に迷い込み、スマートフォンが光りだし、桜の精霊からメッセージが伝えられる。その後、春夏秋冬の季節ごとに場面が展開され、さまざまなダンスから立ち回り、居合術、忍者パフォーマンス、観客席を巻き込んでのコール&レスポンスなどに、プロジェクションマッピングやエアリアル&光の演出が加わり、息もつかせぬ展開。エンディングでは再び春を表す満開の桜で包み込む。劇場全体を使った観客参加型舞台のため、その幻想的な世界にひとときトリップしたような体験ができるはずだ。(鈴木糸子)

9月7日～2017年3月31日(終了時期は予定)

明治座

東京都中央区日本橋浜町2-31-1

19:00～もしくは20:30～ ※日にちにより異なる

6,000円 全席指定

sakura-meijiza.com